

宮城県土木部

復興だより第29号

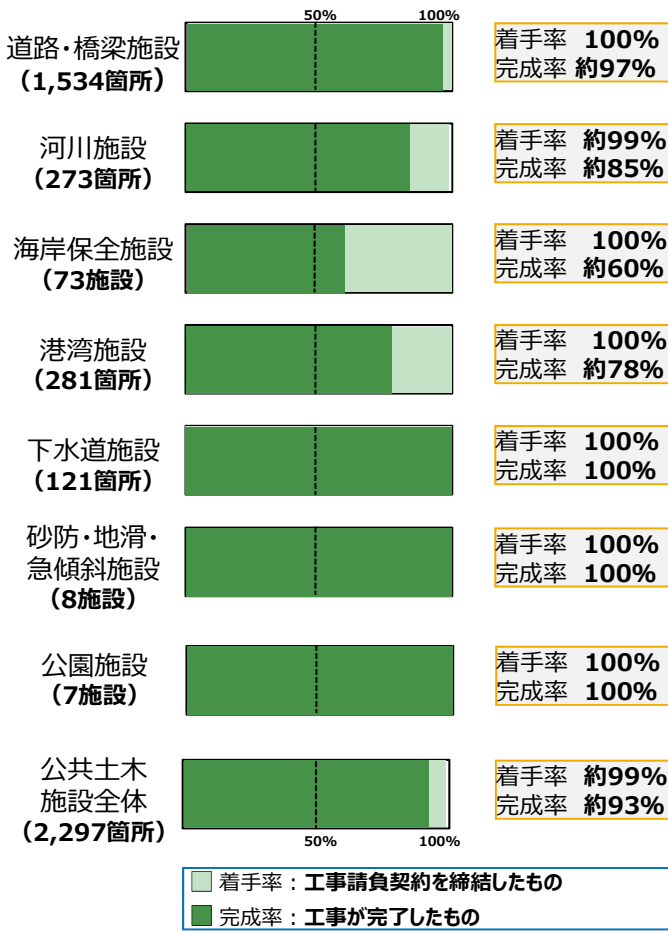
contents

- ・復旧・復興事業の進捗状況【平成31年2月末現在】
- ・復興トピックス（平成30年10月～平成31年3月）

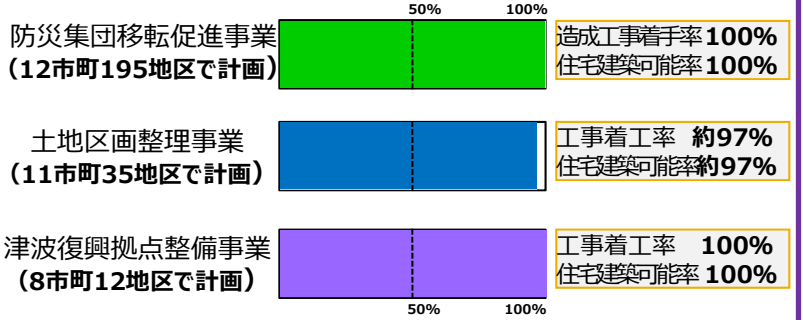


復旧・復興の進捗状況【平成31年2月末現在】

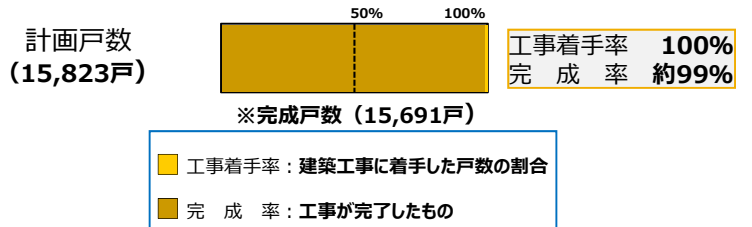
●災害復旧工事の進捗状況



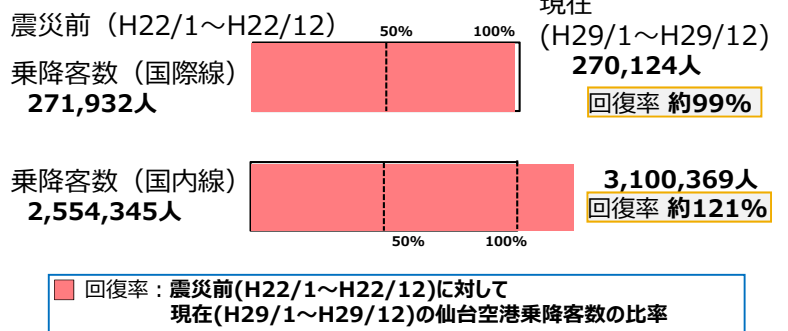
●復興まちづくり事業の進捗状況



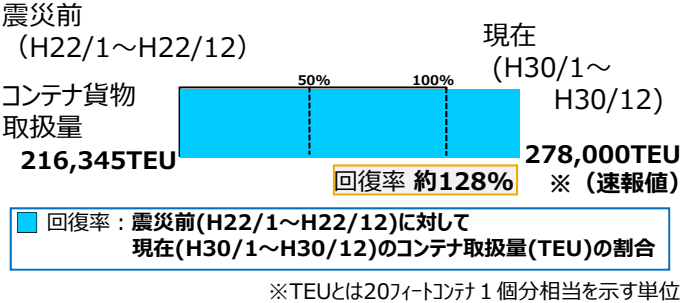
●災害公営住宅の整備状況



●仙台空港乗降客数の状況



●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

- ・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」
<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>
- ・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス（平成30年10月～11月中旬）

10
月

●10/10 2018秋休み！小学生と保護者の
親子現場見学会 開催

●10/14 第17回港湾感謝祭 開催

●10/23 平成30年度 宮城県土木部
優良建設関連業務及び優良技術者表彰式

●10/23 平成30年度 宮城県土木部
優良専門工事業表彰式

●10/26,27 全国運河サミットinみやぎ 開催

●10/28 仙台空港 新旅客搭乗施設「ピア棟」
供用開始

●10/31 平成30年度 津波防災シンポジウム 開催

●11/1～11/15
みやぎの復興まちづくりパネル展
in宮城県図書館 開催

●11/17 (国)398号石巻バイパスⅡ期(大瓜工区)
開通

11
月

●11月1日～15日 みやぎの復興まちづくり パネル展 in宮城県図書館 開催

平成30年11月1日から11月15日にかけて、宮城県図書館において「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催しました。

延べ約15,000名に及ぶ多くの来館者の皆様に、沿岸15市町の復興の姿を見ていただくことが出来ました。



●11月17日 (国) 398号石巻バイパス Ⅱ期(大瓜工区) 開通

一般国道398号石巻バイパスは、女川・牡鹿方面と三陸縦貫自動車道や石巻赤十字病院等を結ぶ緊急輸送道路であり、また、石巻市及び牡鹿半島地域の産業や観光振興に重要な役割を担う幹線路線です。

Ⅱ期(大瓜工区)約3.4kmについては、Ⅰ期(南境工区)に引き続き、平成21年度に事業着手し、事業用地の協力をいただきながら工事を進め、平成30年11月17日に供用を開始しました。

今回の供用により、石巻市街地の混雑区間を経由しない新たな東西交通軸が形成されるとともに、大規模災害時における避難路のリダンダンシーが確保されるなど、石巻圏域の広域連携の強化や地域の安心・安全の向上に資することが期待されます。



●10月23日 平成30年度 宮城県土木部 優良専門工事業表彰式

宮城県土木部優良専門工事業表彰式を平成30年10月23日に開催しました。

優良専門工事業表彰は、元請企業と下請企業との間で対等な関係の構築を図ると共に、下請企業の専門技術の維持と更なる向上を図り、地域建設産業の担い手及び技術者の確保に資することを目的に、今年度から新たに表彰を行いました。



●10月26,27日 全国運河サミットinみやぎ 開催

運河沿川10市町5利活用団体が協働し、平成30年10月26日から27日にかけて、「全国運河サミットinみやぎ」を開催しました。

歴史家で作家の加来耕三氏の基調講演及び県内外の運河沿川自治体や有識者によるパネルディスカッションでの議論を踏まえ、全国運河サミットinみやぎ宣言において、未来に向けて運河を活かしたまちづくりの方策となる宣言を取り纏めることができました。



●10月28日 仙台空港 新旅客搭乗施設 「ピア棟」供用開始

平成30年10月28日に、新旅客搭乗施設「ピア棟」が供用開始となりました。

国内線の搭乗ゲートが6か所から10か所に増加し、仙台空港の利便性がより高まりました。



●10月31日 平成30年度 津波防災シンポジウム 開催

本シンポジウムは、平成18年度から津波防災意識の向上を目的としており、今年で12回目の開催となります。

今年度の基調講演は、木村拓郎氏(一般社団法人減災・復興支援機構理事長)から、震災遺構の保存による継続的な伝承の取り組みについてご講演いただきました。

当日は約200名の方々にご参加いただき、震災伝承の継続のために、取り組むべき地域の情報発信などの課題や連携について取り纏めることができました。



復興トピックス

(平成30年11月中旬～平成31年1月)

11
月

●11/17 仙台塩釜港松島港区災害復旧工事
竣工式 開催

●11/18 (国)4号 金ヶ瀬拡幅 開通

●12/4 外資コンテナ定期航路(中国航路) 新設

●12/8 名取市 復興公営住宅 完成式典

●12/19 名取駅前地区第一種市街地再開発事業
オープニングセレモニー・記念式典・祝賀会 開催

●12/25 みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期(中田工区)
開通

●1/16 平成30年度「知水講座」 開催

●1/16～1/18
第3回みやぎ型管理運営方式現地見学会 開催

●1/20 第9回復興加速化会議 開催

●1/25 都市計画法制定100周年記念フォーラム
開催

12
月

1
月

●11月17日 仙台塩釜港松島港区 災害復旧工事竣工式 開催

仙台塩釜港松島港区は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、港湾施設や背後の胸壁等が被災する等、甚大な被害を受けました。宮城県では、これら被災した港湾施設の復旧のほか、胸壁等の海岸保全施設については今後数十年から百数十年に一度程度発生する比較的頻度の高い津波(レベル1津波)に対応した施設の復旧を進めてきました。

本工事の完成により、津波等による浸水被害から背後にある観光地が守られ、地域の方々や来訪者の方々の安全安心の確保等が期待されます。



●12月25日 みやぎ県北高速幹線道路 Ⅱ期(中田工区) 開通

みやぎ県北高速幹線道路は、東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流を強化する全長約24kmの地域高規格道路です。被災地の復興支援や災害時における救援物資輸送を担う復興支援道路として、加速的に整備を進めています。

既に開通済のⅠ期区間に加え、平成30年12月25日にⅡ期区間中田工区(登米市迫町佐沼～登米市中田町宝江)が開通したことにより、沿岸部と内陸部を結ぶ広域道路ネットワークが形成され、登米市街地の交通渋滞の緩和や、地域産業の振興、観光交流の活性化、救急医療活動への支援が図られるとともに、宮城県の復興にも大いに寄与することが期待されます。



●1月16日～18日 第3回みやぎ型管理 運営方式現地見学会 開催

宮城県では、将来にわたり持続可能な水道経営を確立するため、全国初となる上水道・工業用水道・流域下水道の3事業を一体で官民連携運営する「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」の導入に向けて取り組んでいます。

平成31年1月16日から18日にかけて、工業用水道の「大楯浄水場(仙台市)」と流域下水道の「仙塩浄化センター(多賀城市)」、「県南浄化センター(岩沼市)」の3か所で現地見学会を開催し、事業に関心の高い民間事業者延べ約250名に参加いただきました。

今後、2021年度中の事業開始を目指し、取り組んでまいります。



●1月25日 都市計画法制定100周年記念フォーラム 開催

平成31年(2019年)は、旧都市計画法が大正8年(1919年)に公布されてから100年、また新都市計画法が昭和44年(1969年)に施行されてから50年という大きな節目となっています。

これを踏まえ、これまでの宮城県のまちづくりを振り返り、これからの都市計画制度の新たな役割を展望することにより、都市計画に対する理解と関心を深めることを目的として本フォーラムを開催しました。

本フォーラムでは、須田善明氏(女川町長)、岸井隆幸氏(一般財団法人計量計画研究所 代表理事)からご講演いただき、舟引敏明氏(公立大学法人宮城大学事業構想学群 教授)、菅野正道氏(郷土史家・前仙台市博物館学芸普及室長)、遠藤信哉氏(宮城県企業局公営企業管理者)、岸井隆幸氏(一般財団法人計量計画研究所 代表理事)、渡邊浩司氏(国土交通省都市局市街地整備課長)にパネルディスカッションへ、ご登壇いただきました。

当日は約170名の方々にご参加いただきました。



復興トピックス (平成31年2月～3月)

2月

- 2/1 平成30年度 宮城県住宅・社会資本再生・復興フォーラム 開催
- 2/6 仙台港首都圏セミナー 開催
- 2/16 三陸沿岸道路 歌津本吉道路 (歌津IC～小泉海岸IC) 開通
- 2/16 三陸沿岸道路 本吉気仙沼道路Ⅱ期 (本吉津谷IC～大谷海岸IC) 開通
- 3/1～15 みやぎの復興まちづくりパネル展 in青葉通り 開催
- 3/10 石巻市 復興公営住宅整備事業 完了式典

3月

- 3/10 仙台防災未来フォーラム in仙台国際センター 開催
- 3/15 関上漁港水産業共同利用施設 新築工事 予定
- 3/16 「桜」植樹会 in仙台港多賀城地区緩衝緑地 開催予定
- 3/21 三陸沿岸道路 唐桑高田道路 (唐桑小原木IC～陸前高田長部IC) 開通予定
- 3/24 おうちづくりの学校見学会 開催予定

●2月1日 平成30年度 宮城県住宅・社会資本再生・復興フォーラム 開催

宮城県における住宅・社会資本の復旧・復興について報告するとともに、住まいに係る復旧・復興事業を振り返り、将来に向けた課題や伝承すべきことなどについて考えていく機会とするため、本フォーラムを開催いたしました。基調講演として、石井敏氏(東北工業大学建築学科長教授)、手島浩之氏(公益社団法人日本建築家協会東北支部宮城地域会副地域会長 有限会社都市建築設計集団/UAPP 代表)、助川護氏(独立行政法人 都市再生機構(UR都市機構)東日本賃貸住宅本部技術監理部設計第1課課長)にご講演いただきました。



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL : 022-211-3108

E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.lg.jp

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>

～災害公営住宅の完成にいたるまで～

平成30年度をもって、計画戸数15,823戸の災害公営住宅の整備が完了します。本コーナーでは、土木部の災害公営住宅におけるこれまでの取り組みについて紹介します。

平成25年

●4/1 災害公営住宅 県内で初入居

平成24年度に整備が完了となった仙台市(北六番丁地区12戸)および石巻市(根上松地区20戸)、山元町(新山下駅周辺地区第一期18戸)の計50戸の災害公営住宅で、県内初の入居が開始されました。



山元町災害公営住宅

平成26年

●8/1 南三陸町 名足・入谷復興住宅 完成

完成した住宅は、名足地区と入谷地区で、木造一戸建て14戸・3階建て集合住宅4棟74戸で、入居が開始となりました。



入谷地区戸建住宅

平成27年

●12/1,9 七ヶ浜町全地区の災害公営住宅 完成

平成27年12月1日および9日をもって、整備を進めてきた七ヶ浜町花洲浜地区及び代ヶ崎浜地区の災害公営住宅が完成いたしました。

この完成で、七ヶ浜町で計画されていた全ての災害公営住宅が完成となりました。



七ヶ浜町代ヶ崎浜地区

平成28年

●3/15 多賀城市鶴ヶ谷地区 災害公営住宅 完成

平成28年3月15日には、多賀城市鶴ヶ谷地区で、多賀城市内最大の災害公営住宅が完成しました。完成した住宅は、鉄筋コンクリート造4～8階建て274戸となっています。



多賀城市鶴ヶ谷地区

平成29年

●5/30 気仙沼市全地区 災害公営住宅 完成

平成29年5月30日をもって、市営気仙沼駅前住宅が完成しました。この完成により、気仙沼市で計画されていた全ての災害公営住宅が完成となりました。



祝 気仙沼市災害公営住宅 整備完了・入居式

平成30年

●12/8 名取市全地区 災害公営住宅 完成

平成30年12月8日をもって、名取市関上地区の災害公営住宅が完成しました。この完成により、名取市で計画されていた全ての災害公営住宅が完成となりました。



●3/10 石巻市 復興公営住宅整備事業 完了式典